

[DIC株式会社 “埼玉工場 環境方針”]

DIC株式会社埼玉工場は、社会の一員として安全・環境・健康の確保が経営の基盤であることを認識し、このことを事業活動の全てに徹底し、「持続可能な開発」の原則のもとに生物多様性を含め地球環境等に調和した技術・製品を提供し、もって社会の発展に貢献する。

2015年度 埼玉工場長 サステナビリティ活動方針

1. 生産・研究活動において安全・衛生・健康を確保する。
2. 会社収益の向上・体質強化に貢献する。
3. “価値ある” 新製品を開発する。
4. “価値ある” 品質を提供する。
5. 生産・研究活動を通じ、循環型社会形成に貢献する。
6. 社会からの要請に応える。
7. 人材育成と組織力の向上。



DIC株式会社 埼玉工場
工場長 入間川 伸一

サイトレポート 2015

埼玉工場

DIC株式会社 埼玉工場

〒362-8577
埼玉県北足立郡伊奈町大字小室4472-1
TEL 048 (722) 8211
FAX 048 (722) 6087

<http://www.dic-global.com/>



DIC株式会社



「健康いきいき職場」認証事業場

今後の産業界における生産性向上の新しい手法として、いきいきとした社員、および一体感のある職場を目指す取り組みが「健康いきいき職場づくり」です。この考え方と具体的方法論を産業界に広め支援するフォーラムにDIC埼玉工場として参画して、2014年「健康いきいき職場」認証制度のスター認証を取得しました。埼玉工場は、今後もさらに社員が心も身体も健康で明るく、いきいきと働ける職場環境を提供し、生産性を高めていきます。



埼玉工場の概要

埼玉工場は埼玉県の中央部にある伊奈町に所在し、1981年に操業を開始しました。敷地面積は約10万m²、従業員は約560名です。主な生産品はUV塗料、磁気テープ、ジェットインク、液晶材料、粘着テープ類で、国内だけでなく、欧米や中国等の全世界へ広く出荷しております。

社会への責任ある工場として

ISO 9001 / ISO 14001

品質と環境の国際マネジメント規格の認証により顧客と社会・地球環境への貢献を強くコミットしております。

グリーンパートナー

製品に含まれる化学物質を管理する「製品含有化学物質管理システム」を構築して運用しており、ユーザーからグリーン調達先として認定されています。

埼玉工場のレスポンシブル・ケア (RC) 活動

全社で推進しているレスポンシブル・ケアに基づいて活動しています。

*「レスポンシブル・ケア」とは

化学物質を製造し、または取り扱う業者が、自己決定・自己責任の原則に基づき、開発から廃棄に至る全ライフサイクルにわたって、「安全・環境・健康」を確保することを経営方針で公約し、対策を実行し、改善を図っていく自主管理活動です。

[1] 事故・災害の未然防止

工場長サステナビリティ活動方針1に「リスクアセスメントの計画的実施、定着により、危険有害性を低減する」を掲げ、職場のリスクを把握し、許容することができないリスクを無くす活動を推進しています。また、日常安全活動におけるKYTの実施や、ヒヤリハットの発掘、職場パトロール実施など、本質安全につながる内容にしています。(KYT:危険予知トレーニング)

[2] 環境負荷低減への取組み

①大気・水質汚染物質の対応

大気汚染の発生源となるコージェネレーション施設やボイラ等は、燃料に硫黄分を含まない都市ガスを使用し、更に脱硝装置やそれらの適正運転により、SOx、NOx、煤塵等を基準値以下で排出しています。また排水は、製造工程からのものは産業廃棄物または下水として、生活排水は下水として、それぞれ水質を確認し、適切に管理して排出しています。

②産業廃棄物の対応

2005年にゼロエミッションを達成し、以降継続しています。2014年度の産業廃棄物排出量は、廃溶剤類の分別徹底等により、前年並を維持しています。今後も3Rによる廃棄物削減を推進していきます。(3R: Reuse, Reduce, Recycle)

③PRTR (VOC) 排出量の対応

製品原料や製造工程の水溶性及び排出部への除害装置の設置を継続して推進し、使用量と排出量の削減に努めています。2014年度の大気排出量は、一昨年導入した水洗浄機や局排排気分の除害装置で処理する設備対応が有効に機能し、前年より約19t削減することができました。今後もソフト、ハードの両面から更なる削減を推進していきます。

[3] 省エネルギーへの取組み

コージェネレーション稼働、製造工程の効率化、省エネ施策の実施等により省エネを推進しています。2014年度のCO₂排出量は、省エネ施策の実施等により、前年より減少しました。今後も省エネ装置・設備の導入や生産効率化等を継続推進していきます。

[4] 化学品の安全管理と教育

取り扱い化学品については、SDSを入手し職場内教育を実施して、安全・衛生面の作業環境を確保するとともに種々の改善を進めています。また、工場で生産した製品に対してはSDSを準備し、ユーザーの皆さんに提供しています。(SDS:安全データシート)

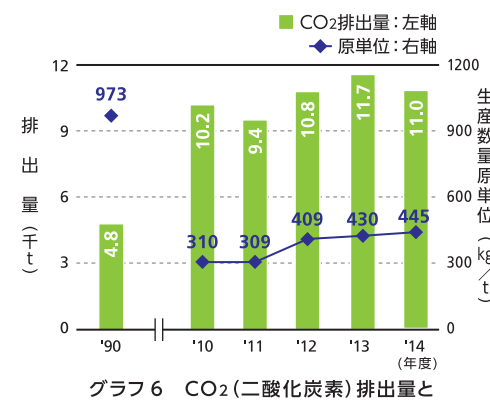
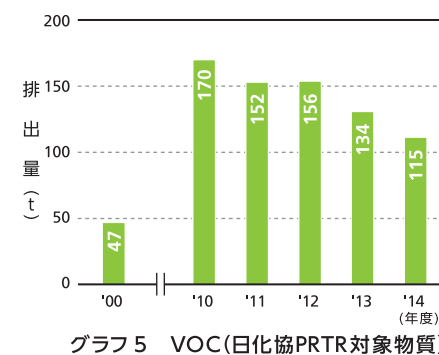
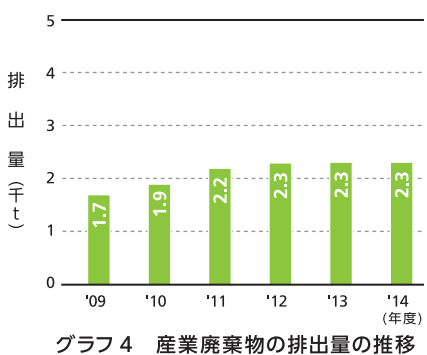
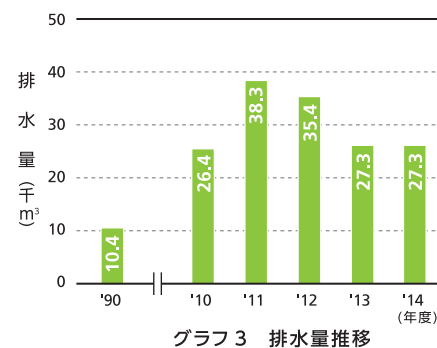
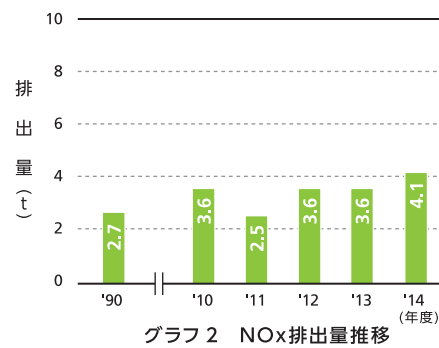
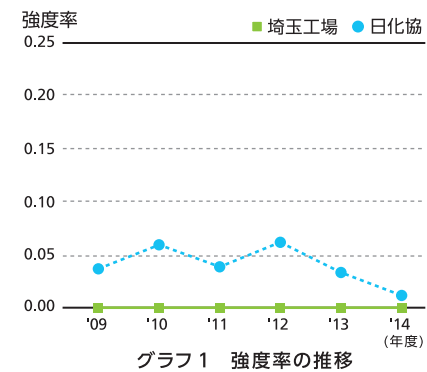
[5] 工場敷地境界の環境

当工場は工業専用地域に立地していますが、一部を住居地域に接しています。このため例年、認定された専門測定業者に委託し敷地境界の騒音、振動、臭気を測定しています。測定結果は法基準値(法基準がない場合は自主設定値)内にありますが、今後も敷地境界の環境には配慮していきます。

[6] 地域とのコミュニケーション

工場操業に際しては近隣の皆様の理解が大変重要であると考えています。このため、周辺にお住まいの人からお願いしている環境モニターや地区自治会での環境説明会を通じて、情報の収集と対話に努めるとともに、近隣で行われる各種のお祭りへの協賛、地域の中学生や高校生の体験学習受入等を実施しています。また防災面では、地区の防火安全協会、労働基準協会の役員を務め、町の総合防災訓練等へも積極的に参加、協力しています。尚、2014年度の近隣からの環境苦情はありませんでした。

※2014年度のデータ集計期間: 2014年1月1日～2014年12月31日



公設消防との合同防災訓練



地区環境説明会(志久公民館)



排出口付近でのVOC濃度測定